

受験勉強の意味とは何か

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今月の「開倫塾の時間」の放送は、今日で最後です。これから先受験勉強を本格的にする方もたくさんいらっしゃると思いますので、「受験勉強の積極的な意味を考えよう」というテーマで、受験勉強の意味は何かということをご一緒に考えてみたいと思います。

受験生の中には、なぜ受験勉強をしなければならないのか、テストでよい点数を取るための勉強・入試で合格を果たすための勉強などは上の学校に進学した後も、世の中に出てからも全く役に立たない無駄なものではないだろうかと思って、虚無感と言いますか、虚しさを感じながらいやいや受験勉強をしている方もいらっしゃるのではないかと思います。よく考えますと、自分が今取り組んでいることの意味がわからない人ほど気の毒な人はいないと私は思います。ですから、放送をお聴きの皆さんはこのようなことのないように、人生における受験の意味や教育における受験勉強の効用をしっかりと理解した上で机に向かうようお願い致します。また、身近に受験勉強をなさっている方がいらっしゃいましたら、このような考えもあるよということでご一緒に考えていただければと思います。
3. 本題に入り、受験勉強とは何かということから考えてみたいと思います。私は、入学試験でよい点数を取って合格を果たすためにこれまでの学習内容をすべてもう1回やり直し、スミからスミまで十分に理解して身に付けてから自分の行きたい学校に進学することが受験勉強だと思います。やはり一番大事なことはよい点数を取ることです。ただ、そのために今までの学習内容をすべてもう一回やり直すことも大事です。例えば、高校入試に臨む方は中学校の内容を全部やり直し、大学入試に臨む方は高校の内容を全部やり直してスミからスミまで十分に理解して身に付けてから自分の希望校に進学を果たすことが大事だと思います。
4. よく考えてみれば、小学校や中学校、高校で学ぶ科目の中で役に立たないものは一切ありません。小学校で勉強した内容はすべて中学校で役に立ちます。中学校の内容はすべて高校の勉強で役に立ちます。高校の内容はすべて大学、短大、専門学校などに進学したあとや社会で働くときに役に立ちます。要するに、すべての科目のすべての内容が世の中に出てから、また、人生をよく生きるために役に立ちます。そこで、国民は学校で生徒さんが学ぶために貴重な税金を用いているのだと思います。
5. 一方、前の学校で十分に勉強してこないと、上の学校の教育についていくのが困難になります。また、仕事についても、小学校、中学校、高校の勉強を十分にしておかないとなかなかいい仕事ができないとすら思います。つまり、小学校、中学校、高校の各々で学ぶべきことを正確に理解して、それを身に付けていないと、大学、短大、専門学校に進学をしたときに非常に困ることになります。また、企業や様々な職場に就職したときもとても大変な状況になります。このことをよく考えてみ

ていただきたいと思います。

繰り返しになりますが、高校でちゃんと勉強しておかないと、大学でのさらに難しい勉強にはついていけません。また、職場では学ぶべきことがたくさんあり、それらを身に着けることが大事です。そのため、それを行う上での勉強がたくさん必要です。その勉強にも、中学校と高校でちゃんと勉強しておかないと困り果てることは明白です。

6. 小学校、中学校、高校の勉強は基本中の基本で、大学の勉強や就職してからの勉強はそれらの上に成り立っているわけです。ですから、自分の人生をよく生きるためにも小学校、中学校、高校の勉強で役に立たないものはないと考えます。

これほど大切な内容ですので、小学校、中学校、高校の教科書や教材、ノートはすべて大切にしておいて一生を通して繰り返し読み直し、更に深い内容を身に着ける定着を目指すことを考えていただきたいと思います。例えば、高校入試を受ける方は、その勉強を通して中学校3年間の内容をすべてやり直すことが、高校入試のための受験勉強の意味だと思います。つまり、学習内容のすべてを正確に身に着けてから高校に進学する、模擬試験や入学試験で過去に出題された問題に挑戦して、間違えた問題はその理由を自分の力で十分に分析し、間違いノートを作って同じ間違いをしないように繰り返しやり直すことが大事です。大学入試を受ける方は、その勉強を通して高校での学習内容をすべてやり直す。また、センター試験がありますので、その問題の10年分ほどを何回も何回も解いて、テキスト代わりに問題文とすべての設問、解答・解説までを繰り返し繰り返し勉強して理解し、定着を図ることが大事であると思います。

7. 受験勉強に頭がよい悪いは一切関係がありません。はっきり言ってしまえば、現在の成績もほとんど関係がありません。受験生としての自覚を持って効率的な方法で長い時間自分自身で勉強するかしないかで、すべてが決まります。もし成績が足りなければ、自覚を強く持って効率的な方法を考え、極端な話、眠る時間以外は全神経を集中して一心不乱に机に向かえば、よい成果が出ます。合格が難しい学校に入学したければ、他の受験生に負けないだけの勉強をしなければならない、これは当然の話です。

自分の未来は自分で切り開く。よく勉強した人は希望校に合格を果たし、勉強が足りない人は合格できない。このように、自分でやったことには自分で責任を取る（これを自己責任と言います）、自分の身は自分で助ける（これを自助努力と言います）ことを知るのも受験勉強だと思います。また、早くから準備をすると入試に間に合い、準備が遅ければ間に合わない、世の中には自分よりもよい成績を取る人が必ずいることを知るのも受験勉強だと思います。

8. 一方、受験勉強をしたくてもできない、中学校や高校、大学、短大、専門学校に進学したくてもできない方は日本の中にもたくさんいて、世界中にはもっともっとたくさんいます。そのようなことも考えて、少しずつでも新聞を毎日読んだり、読書を毎日したりしながら受験勉強を進めていくと、自分自身のことがはっきりわかってきますし、自分の将来を見つめ直すこともできます。このような形で受験勉強を進めると、素晴らしい受験勉強ができると思います。

9. 今日は、受験勉強はどのようなことに役に立つのかというお話をさせていただきました。受験勉強は決して無駄ではありません。もし失敗して落ちてしまったという場合でも、それまでの勉強は全部役に立ちますので、どうか最後の最後まで力を振り絞って自分の行きたい学校、つまり希望校に合格するための勉強をしていただければと思います。また、放送をお聴きの皆さんにも受験勉強にはどのような意味があるのかをお考えいただければと思います。